

企業 PR コラム

真空熱処理業界の最高のサービスを提供します。

八田工業株式会社
代表取締役 隅谷 賢三

弊社は、昭和54年5月に株式会社八田製作所の熱処理事業部が独立してできた会社です。主な業務として、金属の熱処理加工、ワイヤカット放電加工と研磨加工を行っております。

地域に愛される会社をめざし、営業担当者が納品とお預かりを兼ねて、2tトラック6台でお客様を訪問させて頂いています。単品、小ロット品の短納期加工を専門にしております。



◆八田工業 真空熱処理炉

技術の発展と合わせて製品の管理と24時間のサービスがわが社の命です。

1975年に導入された真空熱

処理炉は、今も現役で稼働中です(写真)。従来の冷却方法「焼入油冷却」「ガスファン冷却」も大切な技術ですが、第3の冷却方法として、ミストコントロール冷却による低歪み熱処理技術の研究開発も進めています。



製品や工程の管理技術にも力を入れており、

平成19年からATAC様の援助も頂いて、新しい管理システムの構築を行っています。

八田工業株式会社
代表取締役 隅谷 賢三
599-8265 堺市中区八田西町2丁目18-40
Tel 072-277-7227 (代)
Fax 072-277-8960
URL <http://www.hatta.co.jp>

ATAC ひと言

航空機部品等の加工メーカー「ミツ精機株式会社」(淡路市)を見学

ATACではメンバーの見聞を広めて日常のコンサルティングに役立てるために、毎年「一泊研修旅行」をしておりますが、去る3月27日には日帰り淡路島にある「ミツ精機株式会社」を訪問、見学しました。

「ミツ精機株式会社」(2010年度、従業員187名、年商22億円)は、現社長三津千久磨氏のお爺様が戦前大阪生野区で海軍艦艇の部品製造をやられたのが始まりですが、戦後淡路に移転し、現在は仕様や規格が最も厳しいと云われている航空機のエンジンケースなどの製作を得意とする日本を代表する「世界でも指折り」の優良企業です。

航空機や宇宙機器の部品は、軽量化と高機能・低コストを実現するために非常に複雑な形状をしているのが特徴で、5軸加工の高精度高精密加工の仕上げが必要です。工場内にはあらゆる加工機械が揃っていますが、かの有名な安田工業の「横型マシニングセンター」が8台、「同縦型機」が2台あるのは壮観でした。各設備は優れた治具の設計によって治具交換の頻度が極めて低く「マシニングセンター」の無人運転が進んでいるのにも感心しました。

三津社長は、設計、部品生産、組立て・・・

と何でもやりこなし、航空・宇宙機器部品の機械加工以外に、ニット編機部品の機械加工とアッセンブリー、医療機器部品などの機械加工と多彩な業容を「野菜も肉も缶詰も売る田舎の八百屋のようだ」と云われているんです・・・と冗談まじりで話しておられました。それは従業員の75%が技能士の資格を取得しているからこそ出来ることで、技術伝承はじめ社員教育に並々ならぬご努力を払っておられることを伺い知ることができました。(池田雅)

